

2018年3月期 通期決算説明会

CONNECT!

～電気と情報をつなぐ～

NITTO 日東工業株式会社

証券コード: 6651

(2018年6月7日開催)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を約束する趣旨のものではありません。従って、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。また、表記の都合上、公表している数字とは異なる場合があります。

NITTO 日東工業株式会社

1

本書からの無断転載は固くお断りいたします。

目次

2018年3月期
通期

1 2018年3月期通期決算概要

2 通期連結業績予想

3 トピックス: 価格改定について

4 中期経営計画について

5 参考資料

1 2018年3月期通期決算概要

2 通期連結業績予想

3 トピックス:価格改定について

4 中期経営計画について

5 参考資料

通期 連結決算ハイライト

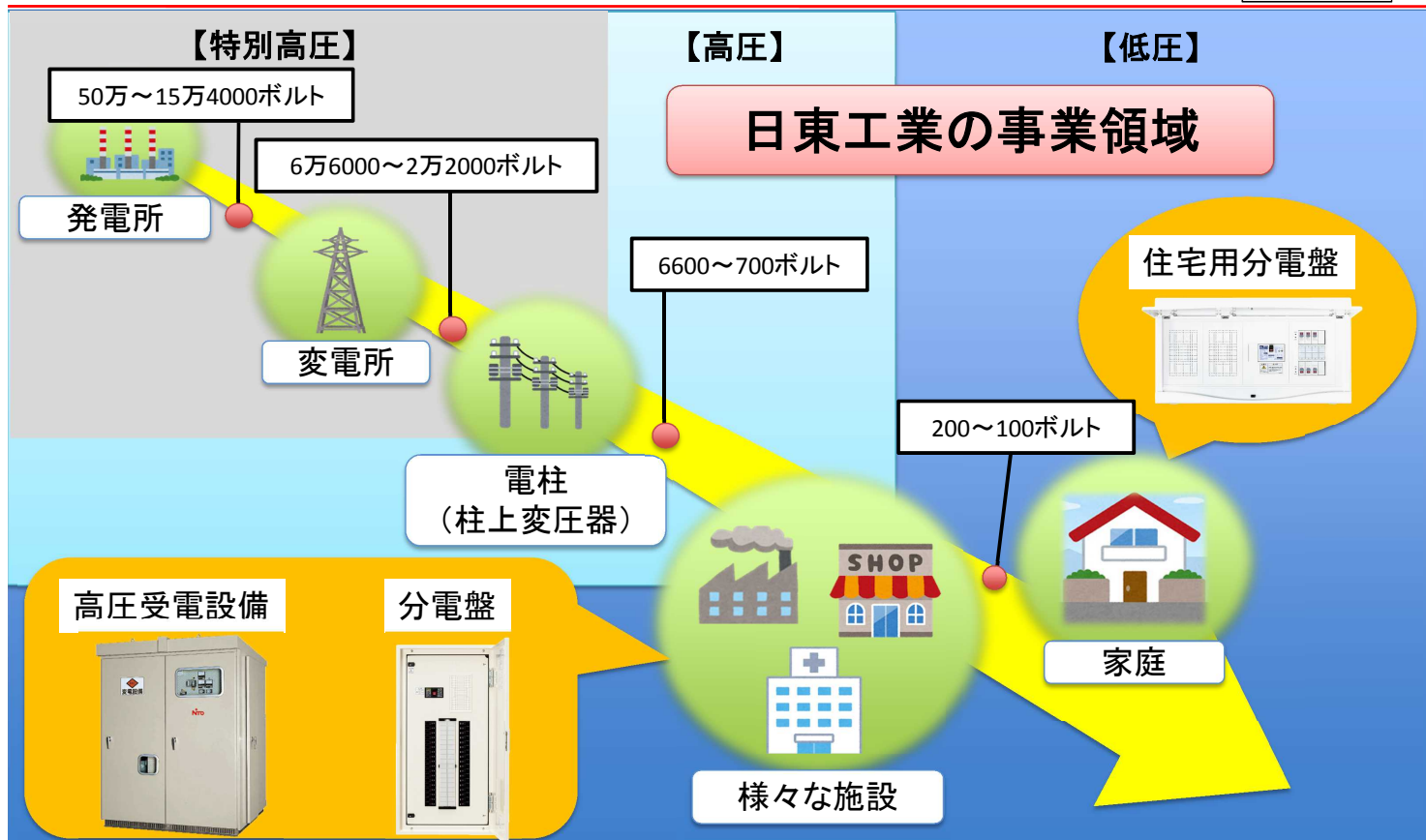
2018年3月期
通期

- ✓ 連結業績は増収減益、修正後計画は達成
- ✓ 売上高は、海外子会社が不振であったが、配電盤関連製造事業の日東工業単体と新愛知電機製作所、情報通信関連流通事業がカバーし微増
- ✓ 営業利益は、日東工業単体・連結ともに苦戦
- ✓ 前期計上の特殊増益要因(中国工場および不動産信託受益権の売却益)は消失
- ✓ Gathergates社ののれんを一括償却

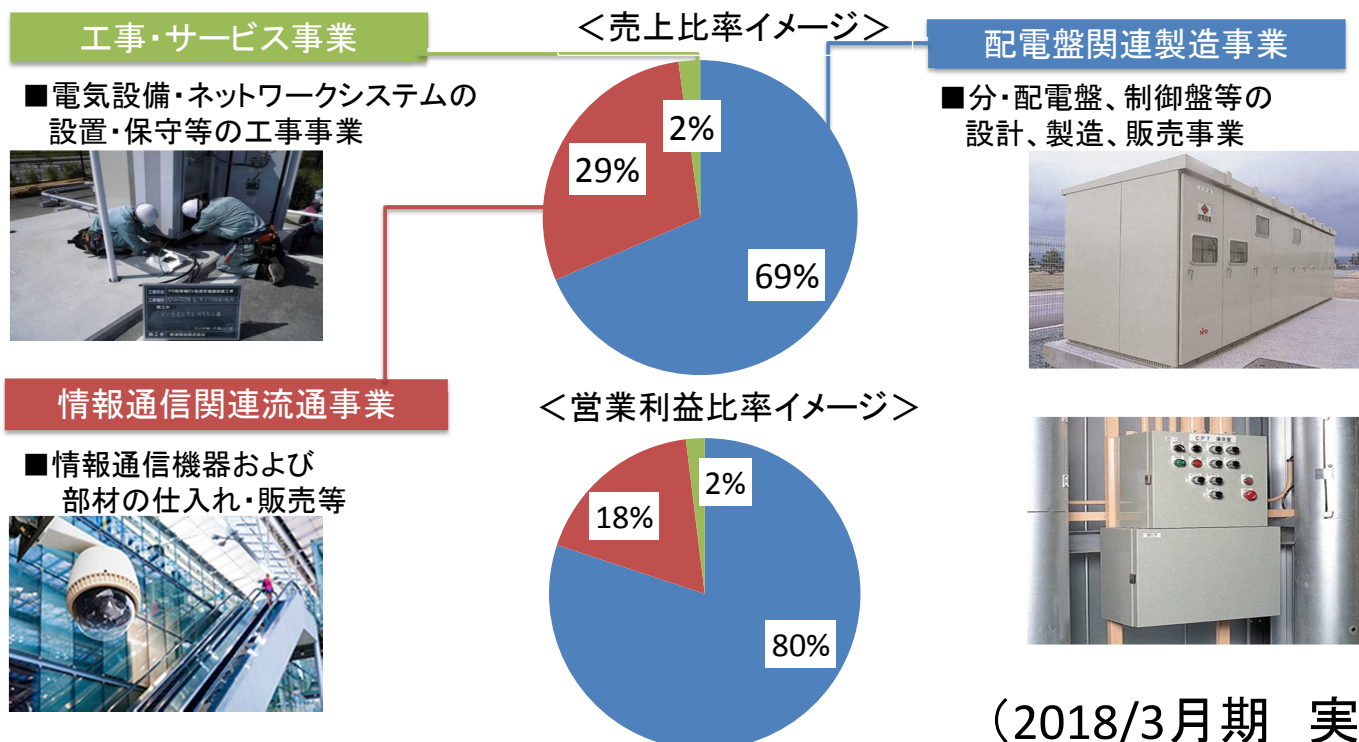
(単位:百万円)

決 算 期	2017/3	2018/3			
	実績	※計画	実績	前期比 増減率	計画対比 増減率
売上高	106,627	107,000	108,080	+1.4%	+1.0%
営業利益	6,598	4,900	5,751	△12.8%	+17.4%
経常利益	6,402	5,000	5,625	△12.1%	+12.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,506	2,300	2,883	△36.0%	+25.3%

※2018年1月31日修正



配電盤関連製造事業が売上の約7割、利益の約8割を占める。



(2018/3月期 実績)

通期 セグメント別 決算ハイライト

2018年3月期
通期

- ✓ 配電盤関連製造事業は、日東工業単体や子会社の新愛知電機製作所が増収となったものの海外子会社の業績が低調に推移したことや日東工業単体の変動費等の悪化により増収減益
- ✓ 情報通信関連流通事業は、ネットワークカメラなどの売上が増加するも販管費等の増加により増収減益
- ✓ 工事・サービス事業は、特需案件が剥落し減収減益

	部門別	2017/3	2018/3			
		実績	※計画	実績	前期比増減率	計画対比増減率
売上高	配電盤関連製造事業	73,534	74,100	74,053	+0.7%	△0.1%
	情報通信関連流通事業	30,493	30,500	31,619	+3.7%	+3.7%
	工事・サービス事業	2,599	2,400	2,407	△7.4%	+0.3%
	合計	106,627	107,000	108,080	+1.4%	+1.0%
営業利益	配電盤関連製造事業	5,399	－	4,603	△14.8%	－
	情報通信関連流通事業	1,065	－	1,033	△3.0%	－
	工事・サービス事業	133	－	112	△15.9%	－
	合計	6,598	4,900	5,751	△12.8%	+17.4%

※2018年1月31日修正

通期 配電盤関連製造事業(部門別)

2018年3月期
通期

- ✓ 配電盤部門は、海外子会社の業績不振や太陽光関連製品の売上が減少していることから、前期比マイナス
- ✓ 配電盤部門以外は国内設備投資が持ち直しの動きを続けていることから、キャビネットを中心に前期比で増加

(単位:百万円)

部門別 売上高		2017/3	2018/3			
		実績	計画	実績	前期比増減率	計画対比増減率
配電盤関連製造事業	配電盤	42,830	42,300	41,395	△3.4%	△2.1%
	キャビネット	21,025	21,600	22,019	+4.7%	+1.9%
	遮断器・開閉器	4,747	4,900	5,204	+9.6%	+6.2%
	パーツ・その他	4,931	5,300	5,433	+10.2%	+2.5%
合計		73,534	74,100	74,053	+0.7%	△0.1%
連結全体合計		106,627	107,000	108,080	+1.4%	+1.0%
連結売上構成比		69.0%	69.3%	68.5%	△0.5%	△0.8%

通期連結営業利益の増減要因

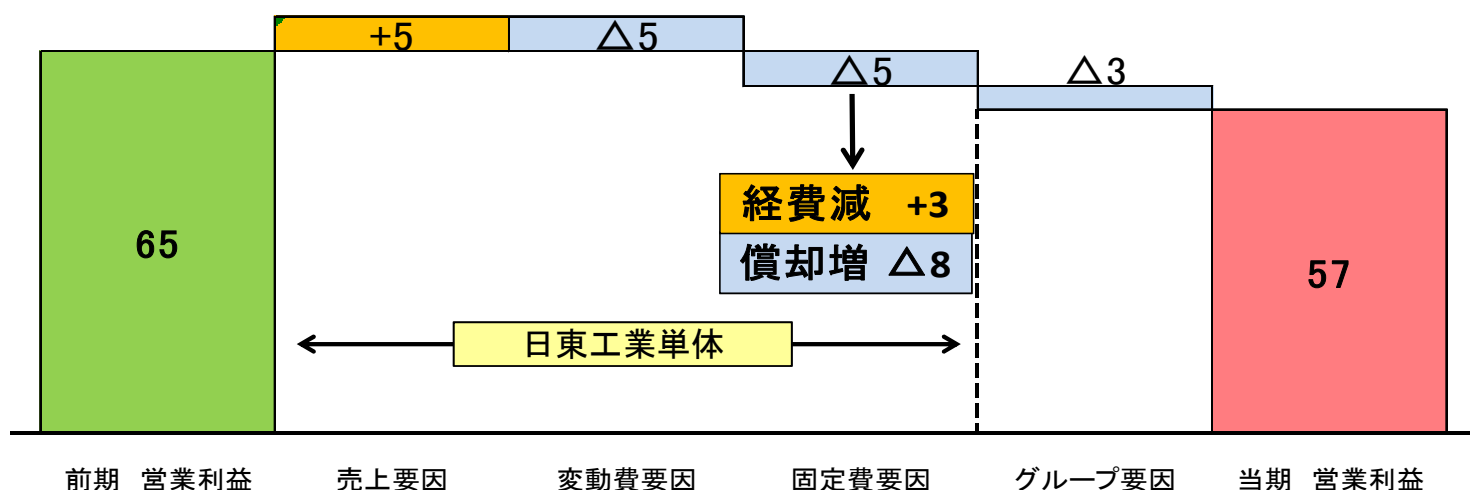
2018年3月期
通期

- ・ 日東工業単体要因としては、売上増加に伴い、限界利益が増加するも、材料価格高騰等による変動費の悪化および減価償却費の増加による固定費の悪化により減益となる
- ・ グループ要因では、海外子会社の業績低迷が利益を押下げる結果となる

(単位: 億円)

【2017/3月期 実績】

【2018/3月期 実績】



通期連結キャッシュ・フロー計算書

2018年3月期
通期

(単位: 百万円)

	2017/3 実績	2018/3 実績	前年同期比増減額
現金及び現金同等物の期首残高	21,606	25,138	+3,532
営業活動によるCF	9,787	6,616	△3,171
投資活動によるCF	△4,336	△1,882	+2,454
財務活動によるCF	△1,771	△1,716	+55
現金及び現金同等物の期末残高	25,138	28,283	+3,145

<主な増減内容>

■ 営業活動によるCF		■ 投資活動によるCF	
・税引前利益の減少	△1,604	・有形固定資産の取得に伴う支出の減少	+3,241
・減価償却費の増加	+865	・信託受益権の売却収入の消失	△1,911
・のれん償却額の増加	+1,621	■ 財務活動によるCF	
・投資有価証券売却益の増加	△1,455	・配当金支払額の減少	+81
・売上債権増減額の差異	△4,492		
・法人税等の支払額の減少	+1,262		

※数値は前期比増減額

通期連結資産の概要

2018年3月期
通期

(単位:百万円)

	2017/3 実績	2018/3 実績	増減	主な増減要因
流動資産	62,552	68,585	+6,033	■ 資産 ・現金及び預金の増加(+2,107) ・売上債権の増加(+2,608) ・のれんの償却(△1,847)
固定資産	39,319	35,661	△3,658	
資産合計	101,871	104,246	+2,375	
流動負債	18,256	19,790	+1,534	■ 負債 ・買入債務の増加(+158) ・短期借入金の増加(+232) ・未払法人税等の増加(+1,156)
固定負債	1,462	1,394	△68	
負債合計	19,719	21,184	+1,465	
純資産合計	82,152	83,061	+909	・当期純利益(+2,883) ・配当(△1,820)
負債資本合計	101,871	104,246	+2,375	

目次

2018年3月期
通期

1 2018年3月期通期決算概要

2 通期連結業績予想

3 トピックス:価格改定について

4 中期経営計画について

5 参考資料

通期連結業績予想

2018年3月期
通期

- ✓ 通期連結業績は増収増益を計画（連結売上高計画は過去最高）
- ✓ 増収増益の主な要因は日東工業単体の変動費等の改善や価格改定の影響によるもの

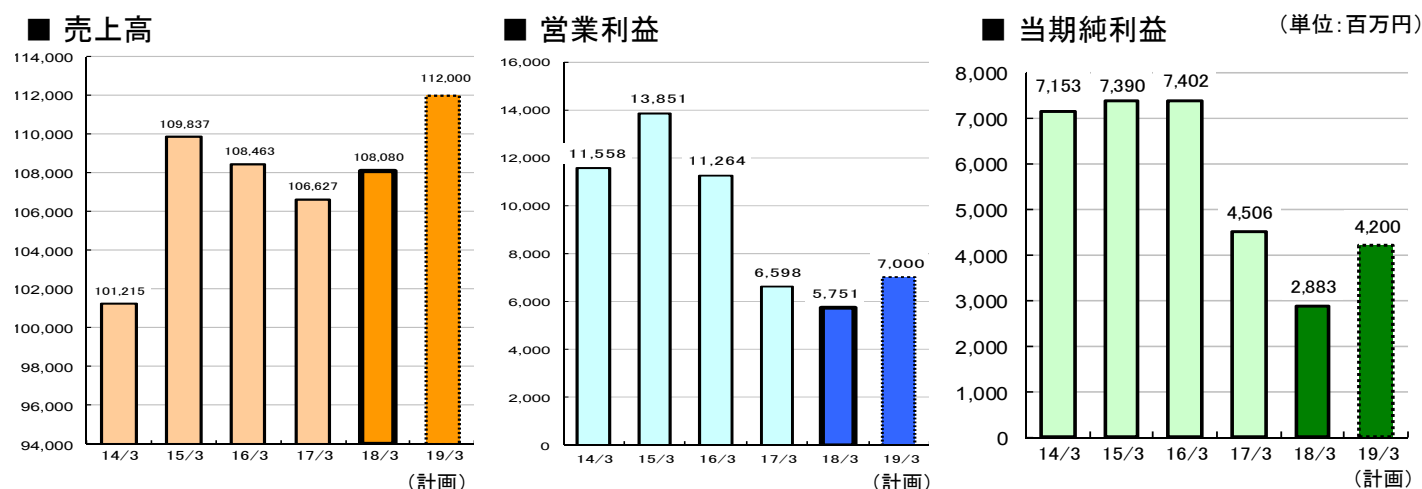
（単位：百万円）

決 算 期	2018/3		2019/3			
	2Q実績	通期実績	2Q計画	前年同期比 増減率	通期計画	前期比 増減率
売上高	49,433	108,080	51,500	+4.2%	112,000	+3.6%
営業利益	1,907	5,751	1,800	△5.6%	7,000	+21.7%
経常利益	1,842	5,625	1,800	△2.3%	6,900	+22.7%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	974	2,883	900	△7.7%	4,200	+45.7%

過去5年 連結経営成績

2018年3月期
通期

- ・ 2019年3月期は増収増益を計画、営業利益に関しては4期ぶりの増益を見込む



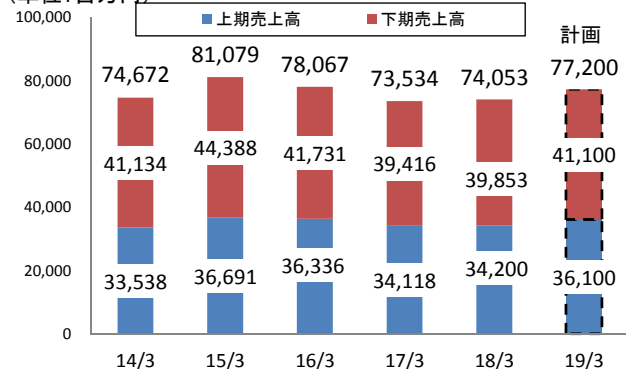
	14/3	15/3	16/3	17/3	18/3	19/3(計画)
売上高	101,215	109,837	108,463	106,627	108,080	112,000
営業利益	11,558	13,851	11,264	6,598	5,751	7,000
当期純利益	7,153	7,390	7,402	4,506	2,883	4,200

業績予想 セグメント別(配電盤関連製造事業)

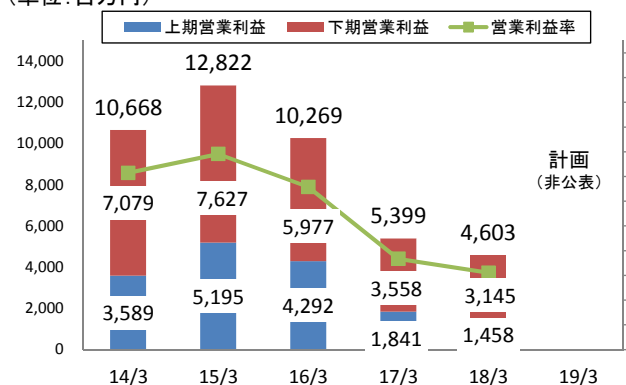
2018年3月期
通期

◆配電盤関連製造事業 通期予想 77,200百万円(前期比 +4.2%)

(単位:百万円)



(単位:百万円)



【通期予想】

・日東工業単体は増収を見込み、セグメント全体でも増収計画

【取り組み】

・下期より日東工業製品の価格改定を予定
・Gathergates社の生産体制強化および製造コスト削減やBANGKOK SHEET METAL社との連携強化

【主要グループ会社:通期見通し】

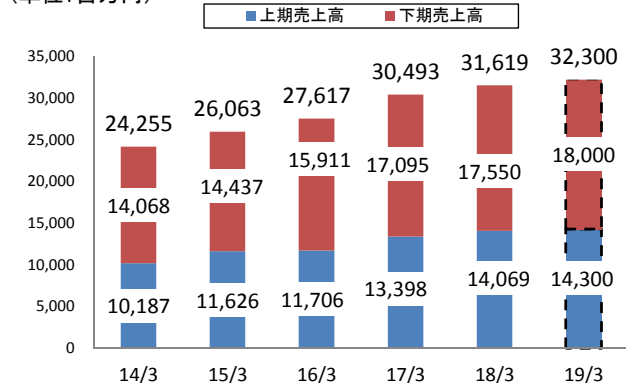
	会社名	売上 (前期比)	営業 利益	グループ利益 影響度
国内	日東工業(株)			大
	(株)新愛知電機製作所			小
	(株)大洋電機製作所			小
	(株)ECADソリューションズ	—		小
海外	日東工業(中国)有限公司			小
	Gathergates Group Pte Ltd			小
	NITTO KOGYO BM (THAILAND) CO.,LTD			小

業績予想 セグメント別(情報通信関連流通事業)

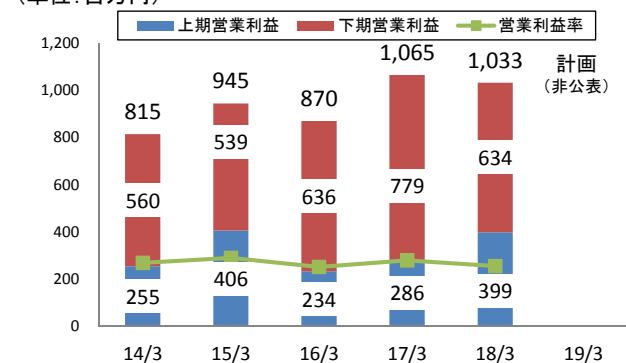
2018年3月期
通期

◆情報通信関連流通事業 通期予想 32,300百万円(前期比 +2.2%)

(単位:百万円)



(単位:百万円)



【通期予想】

・ネットワークカメラ需要は堅調な推移を見込む
・太陽光関連商材の売上は減少傾向が続くが、相当程度の需要は継続

【取り組み】

・首都圏再開発・オフィス移転・オリンピック案件の獲得
・カメラ・無線・IoTでのトータルソリューション (ハード/ソフト/サービス)の提案

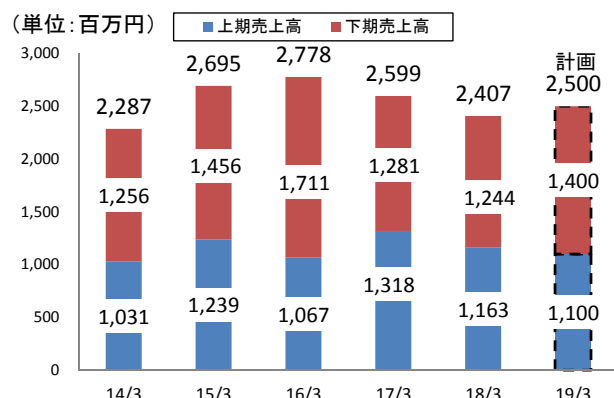
【主要グループ会社:通期見通し】

	会社名	売上 (前期比)	営業 利益	グループ利益 影響度
国内	サンテレホン(株)			中
海外	SUNTEL(THAILAND) Co.,Ltd	—		小

業績予想 セグメント別(工事・サービス事業)

2018年3月期
通期

◆工事・サービス事業 通期予想 2,500百万円(前期比 +3.8%)

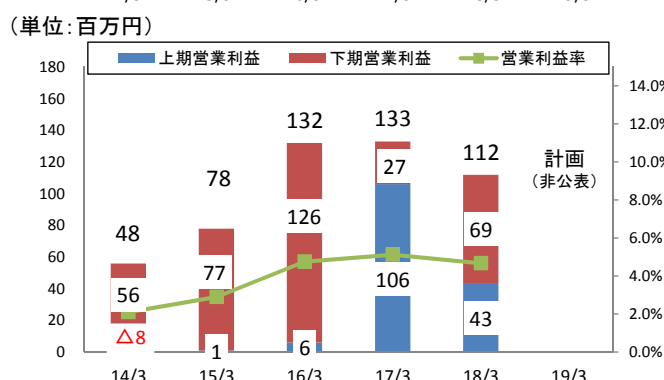


【通期予想】

- ・主力の電気設備工事・通信設備工事は弱い動き
- ・キュービクル・配電盤関連工事による売上増加を見込む

【取り組み】

- ・日東工業との連携を強化し、更なるシナジーの創出に注力



【主要グループ会社: 通期見通し】※

	会社名	売上 (前期比)	営業 利益	グループ利益 影響度
国内	南海電設(株)			小

※本セグメントは南海電設(株)のみ

通期連結営業利益の増減要因(今期予想)

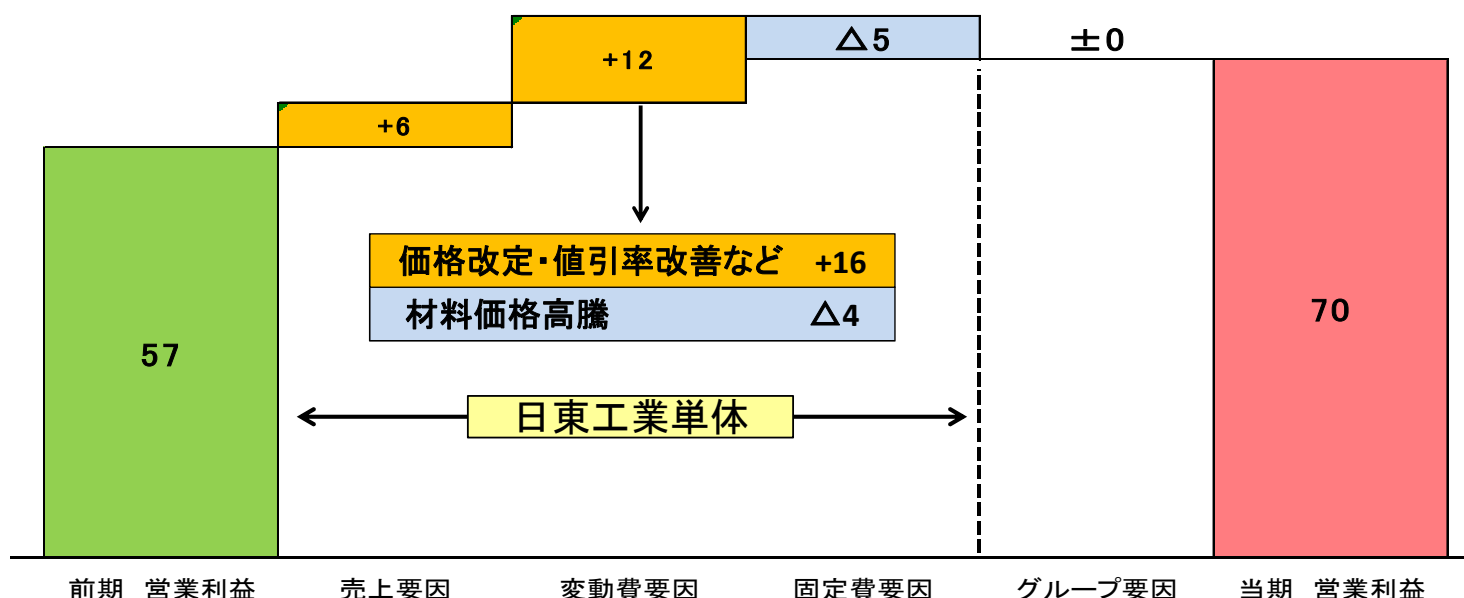
2018年3月期
通期

- ・ 2019年3月期の予想連結営業利益は前期比21.7%増加の70億円を見込む
- ・ 日東工業単体の価格改定の影響や値引率の改善などが利益の押し上げ要因となる

(単位: 億円)

【2018/3月期 実績】

【2019/3月期 予想】



2019年3月期 予想連結営業利益について

2018年3月期
通期

- ✓ 2019年3月期の上期は配電盤の案件の獲得を見込んでいるが、下期はキャビネットなどの高利益商材である標準品販売注力による販売製品構成比の変化によるもの
- ✓ 2019年3月期下期からの価格改定の影響による増益を見込む

(単位: 百万円)

部門別 売上高		2018/3月期		
		上期	下期	通期
製造事業 配電盤関連	配電盤	18,803	22,592	41,395
	配電盤以外	15,396	17,260	32,656
情報通信関連流通事業		14,069	17,550	31,619
工事・サービス事業		1,163	1,244	2,407
小計		49,433	58,647	108,080

2019/3月期					
上期	前期比	下期	前期比	通期	前期比
19,900	105.8%	22,200	98.3%	42,100	101.7%
16,200	105.2%	18,900	109.5%	35,100	107.5%
14,300	101.6%	18,000	102.6%	32,300	102.2%
1,100	94.6%	1,400	112.5%	2,500	103.8%
51,500	104.2%	60,500	103.2%	112,000	103.6%

	2018/3月期		
	上期	下期	通期
連結営業利益	1,907	3,844	5,751

2019/3月期					
上期	前期比	下期	前期比	通期	前期比
1,800	94.4%	5,200	135.3%	7,000	121.7%

通期連結営業利益の増減要因について

2018年3月期
通期

- ・ 売上要因 : 新エネ市場の売上は減少傾向が続くが、減少幅は縮小傾向
従来市場で新エネ市場の売上減少分をカバー
- ・ 変動費要因 : 値引率・材料価格等
 - ① 値引率については悪化傾向が続いていたが、2019/3月期より改善を見込む
 - ② 材料価格高騰の影響については2019/3月期も継続
 - ③ 価格改定の影響により改善を見込む
- ・ 固定費 : 減価償却費・人件費・経費等
 - ① 2018/3月期までは人件費・経費等が減少するも減価償却費の増加が上回る
 - ② 2019/3月期は減価償却費が横ばい、人件費・経費等が増加

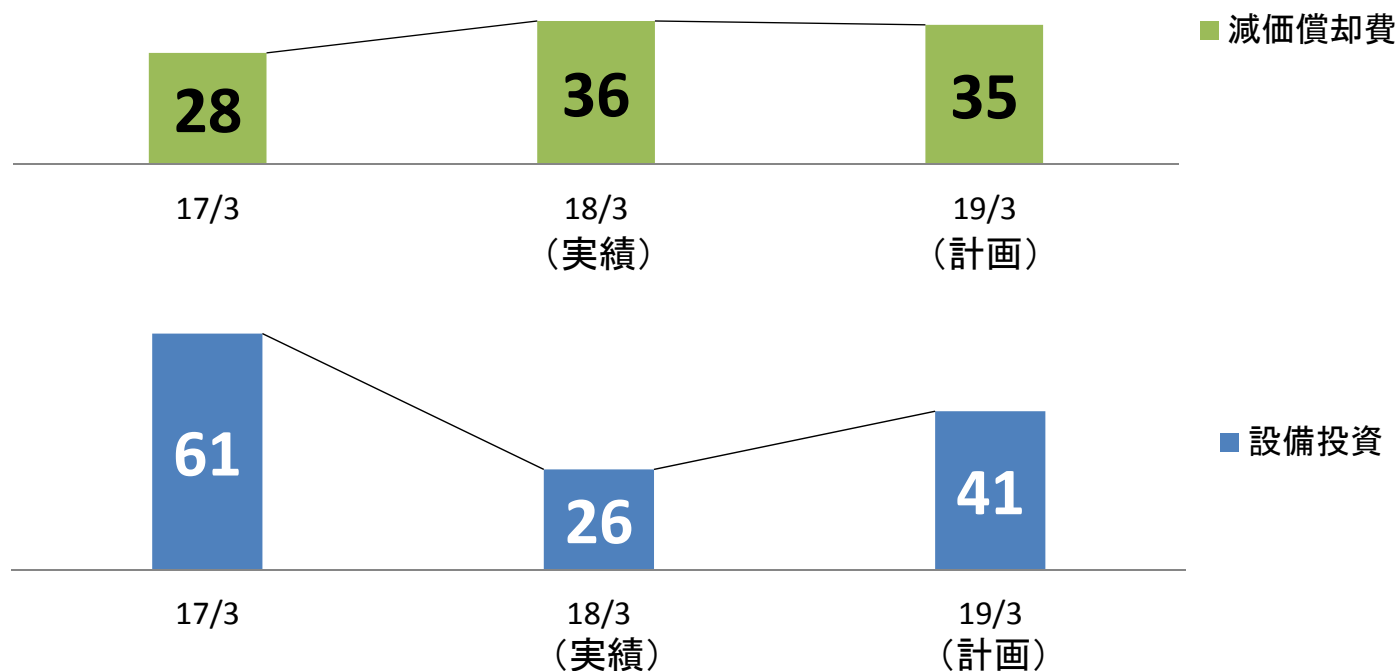
(単位: 億円)

↑: 押上げ要因 ↓: 押下げ要因		2017/3 実績	2018/3 実績	2019/3 計画
営業利益		65	57	70
前期比増減額		△47	△8	+13
増減 要因	売上要因	↓	↑	↑
	変動費要因	↓	↓	↑
	固定費要因	→	↓	↓
	グループ要因	↓	↓	→

設備投資額、減価償却費

2018年3月期
通期

- 2019年3月期は、設備投資41億円、減価償却費35億円を計画



新エネルギー関連市場の売上動向 (日東工業単体参考)

2018年3月期
通期

- 2018年3月期の売上は前期比68%程度となる。2019年3月期の売上は減少幅の縮小(前期比80%程度)を見込む。

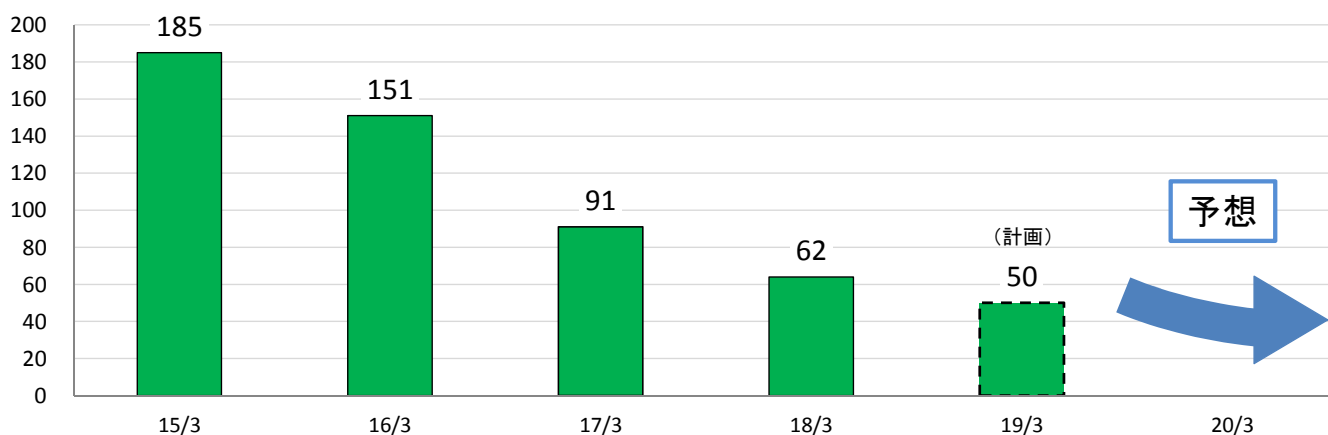
「新エネルギー関連市場」とは

- ①太陽光発電関連(接続箱、集電箱など)
- ②自動車関連(充電スタンド)
- ③その他: エネルギーマネジメントシステム関連など

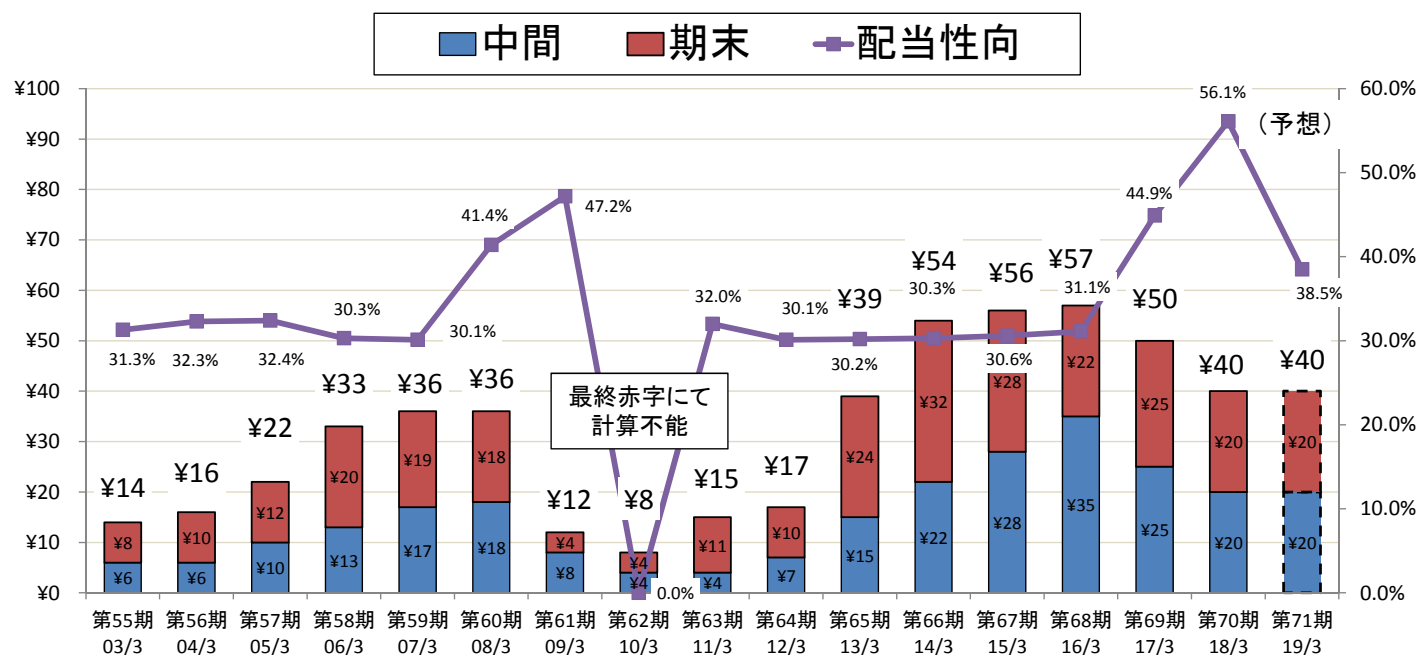
※売上金額は日東工業単体の売上となり、グループの売上を含めておりません。また、グループ間相殺したものではありません。

(単位: 億円)

<新エネルギー市場関連 売上>



- ・ 期末配当金は20円。通期配当金は40円、配当性向は56.1%となる
- ・ 2018年3月期より、配当方針の変更を行っている
- ・ 配当方針に基づき、通期予想配当額は40円、配当性向は38.5%



1 2018年3月期通期決算概要

2 通期連結業績予想

3 トピックス: 価格改定について

4 中期経営計画について

5 参考資料

- 2019年3月期における価格改定による増収効果は数億円を見込む

- 1.価格改定時期 2018年10月1日
- 2.主な対象製品と価格改定率(予定)

キャビネット	約8%
プラボックス	約5%
システムラック	約7%
光接続箱	約5%
熱関連機器	約5%
盤用パーツ	約5%
ブレーカ・開閉器・端子台	約5%
配・分電盤(標準分電盤・制御盤)	約5%
キャビネット加工費(基本価格・穴加工)	約20%

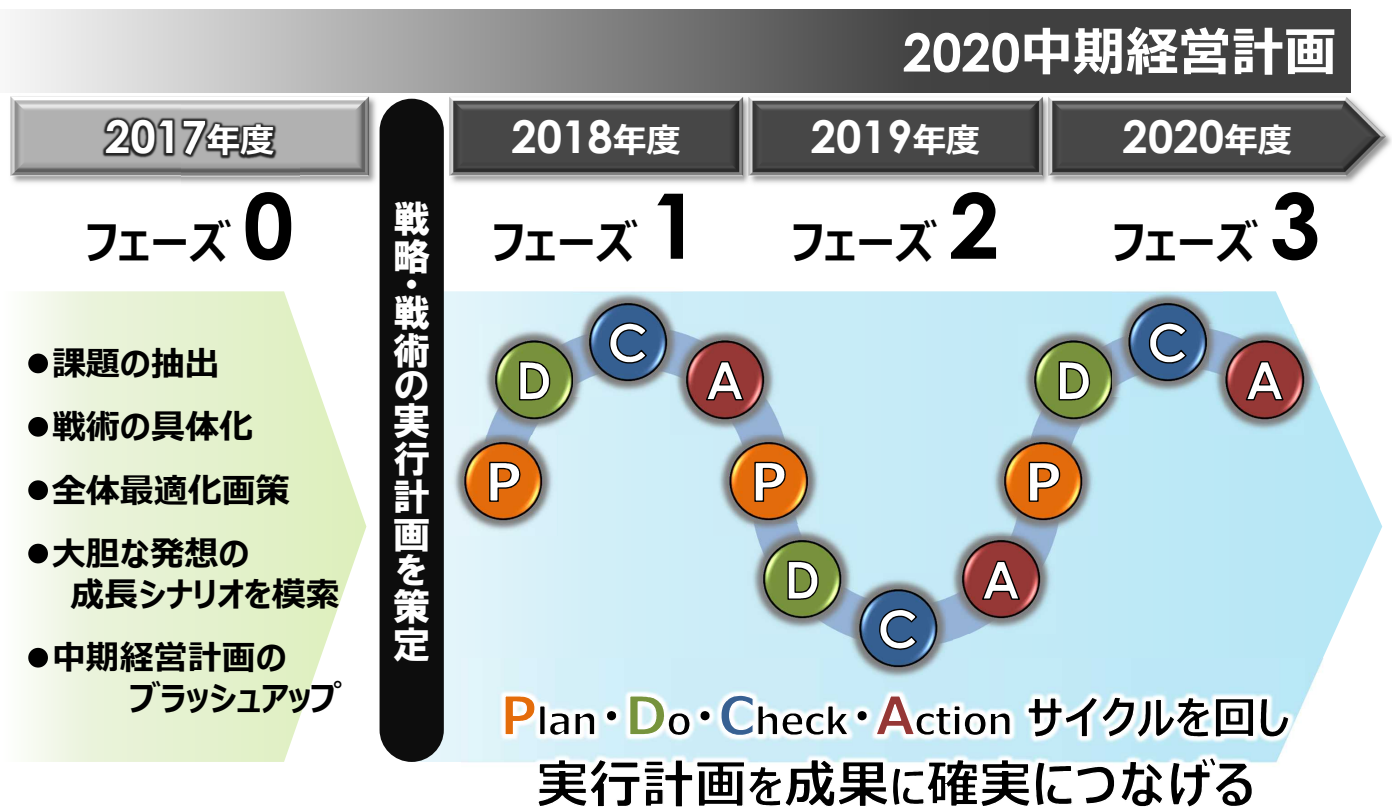
1 2018年3月期通期決算概要

2 通期連結業績予想

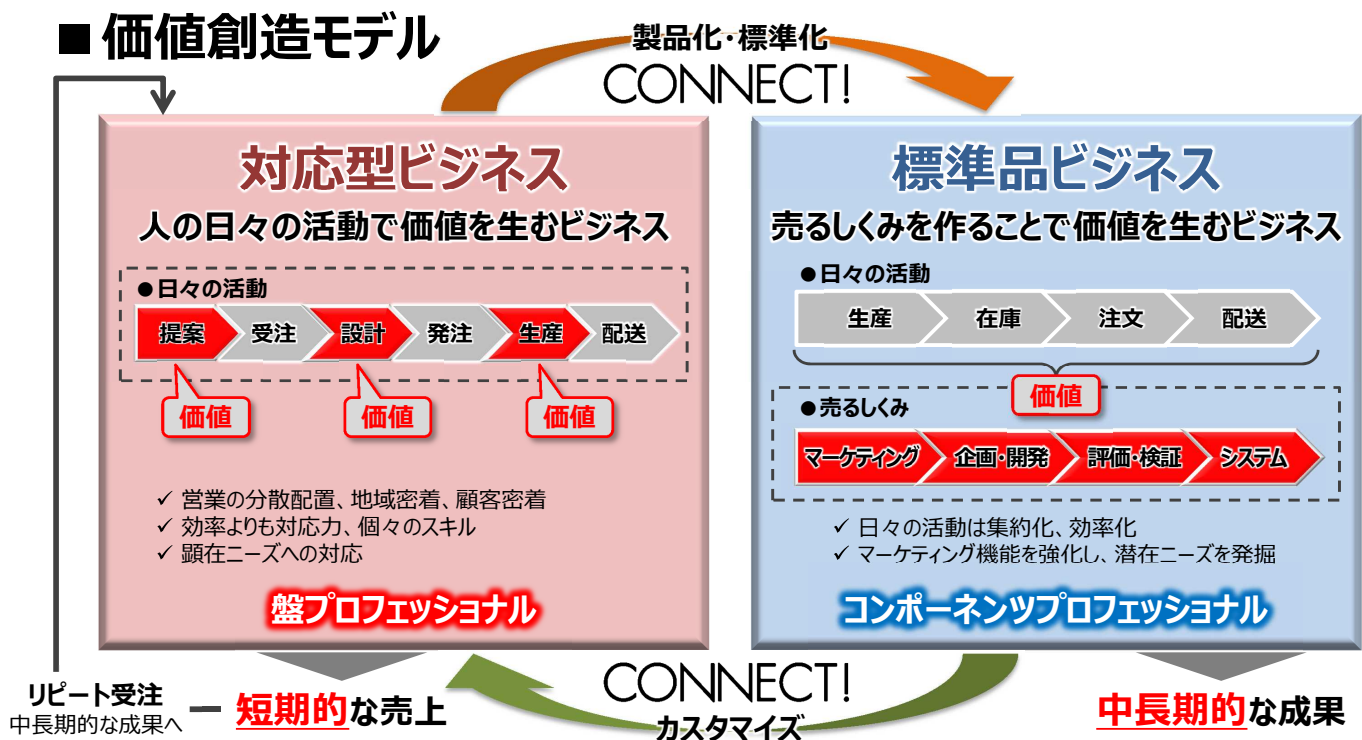
3 トピックス：価格改定について

4 中期経営計画について

5 参考資料



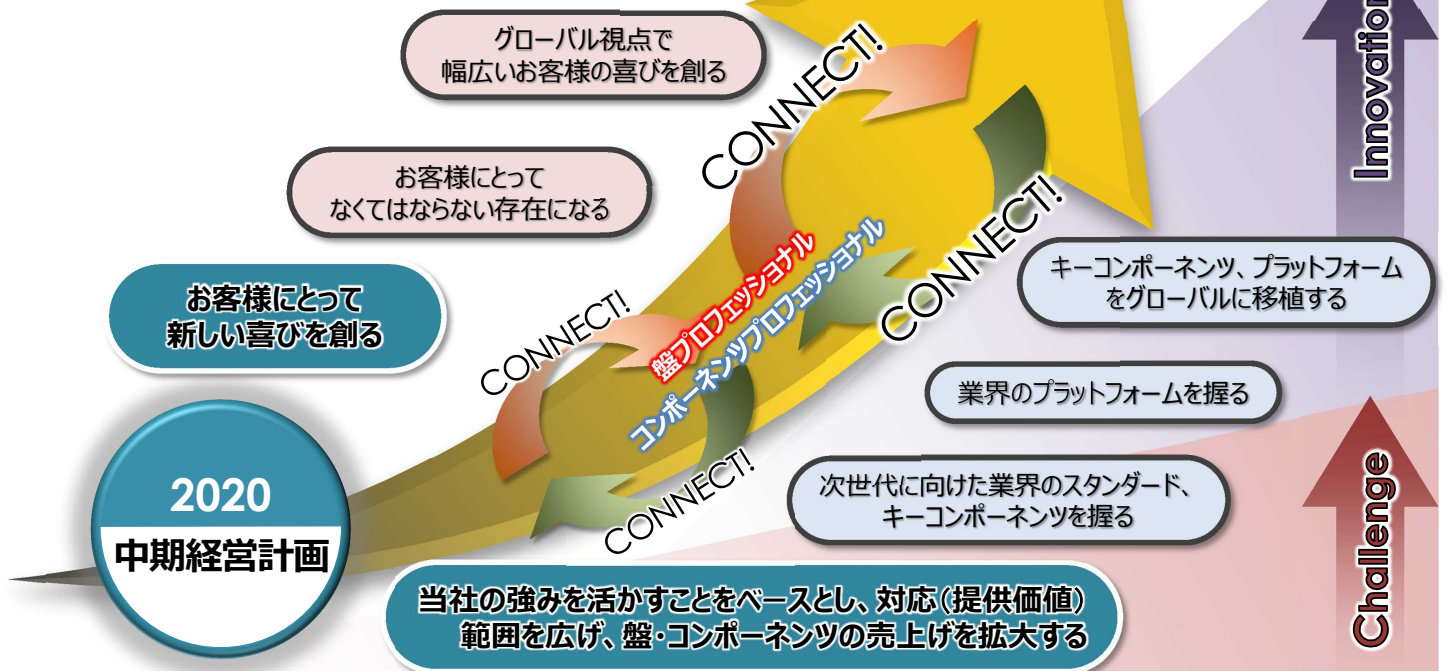
ご参考: 対応型ビジネス／標準品ビジネス



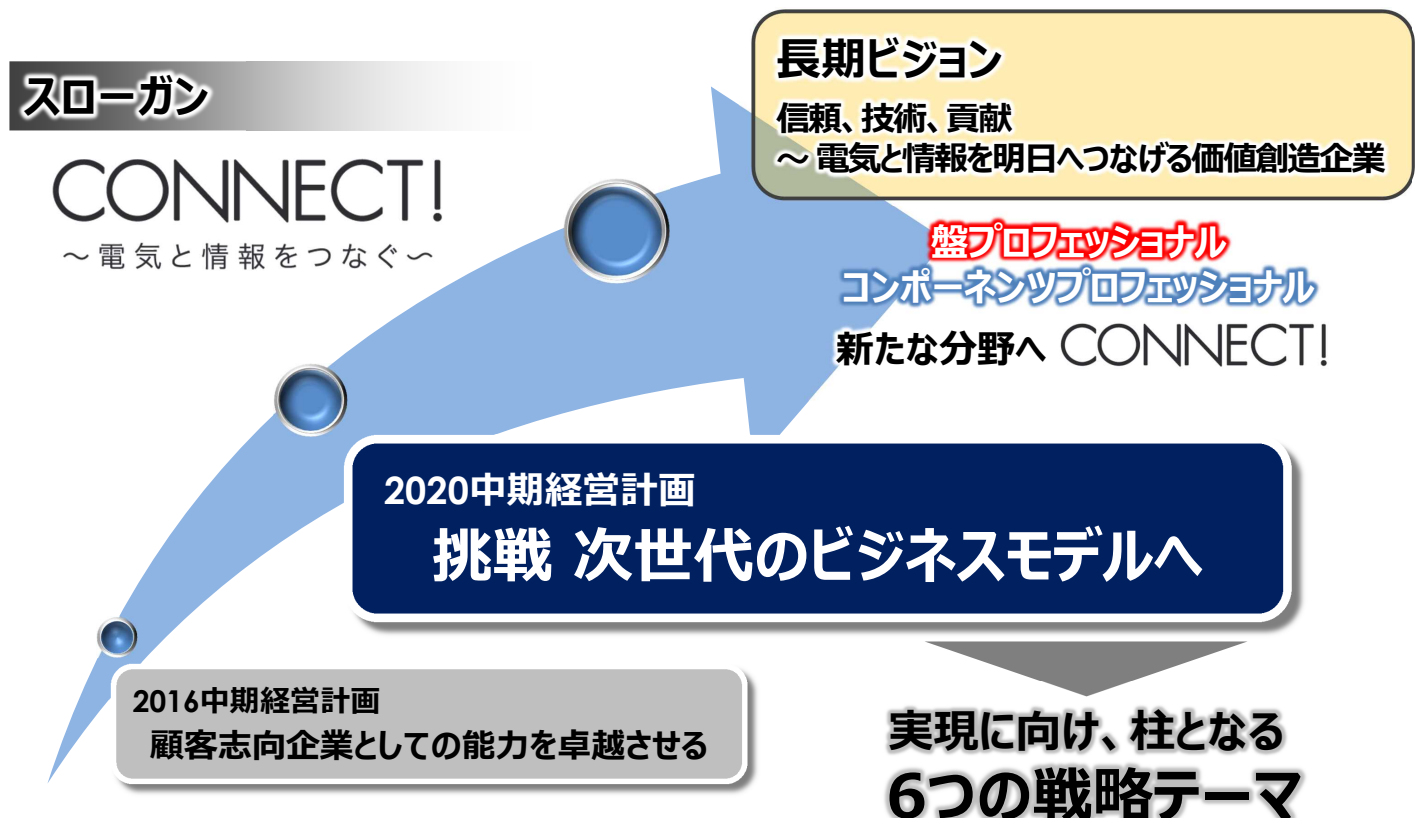
両ビジネスをバランスよく成長させ、高収益を持続

次世代のビジネスモデル

盤プロフェッショナル・コンポーネンツプロフェッショナル
新たな分野へ CONNECT!



2020中期経営計画 中期基本方針



	戦略テーマ	ビジョン
事業戦略	1. コア事業競争力の追求(技術力、製品提案力強化)	
	I 対応型ビジネス [盤プロフェッショナル]	盤関連事業の対応力をきわめ、 頼られるベストパートナーを目指す
	II 標準品ビジネス [コンポーネントプロフェッショナル]	産業インフラ関連企業に喜びを与える企業になる
	2. グローバル化(東南アジアにおける配電盤事業の確立)	
	III 海外事業	海外で活躍する産業インフラ関連企業に 喜びを与える企業になる
	3. 新規ビジネスの展開(新たな技術・企業との融合)	
基盤強化	IV 新規事業	失敗を恐れず、新ビジネス創出に挑戦する
	4. 生産体制・経営基盤の強化	
	V 生産体制強化	お客様に喜んでいただける、品質・コスト・スピードの実現を目指し 改善・改革にチャレンジする
	VI 経営管理基盤強化	日東工業グループの事業戦略を支える 経営管理基盤を確立する

	2016年度 実績	2017年度 実績	2020年度 目標
連結売上	1,066	1,080	1,250
(内 単体売上)	674	685	750
対応型ビジネス	465.5	468.1	470.0
標準品ビジネス	207.0	214.7	240.0
新規事業	1.5	2.2	40.0
(内 情報通信関連流通事業)	(305)	(316)	(350)
(内 海外事業)	(40)	(35)	(70)
連結営業利益	65	57	100
(内 単体営業利益)	50	44	75

(単位:億円)

I 対応型ビジネス [盤プロフェッショナル]

フェーズ 0

◆ グループ戦略の立案

- ✓ グループ会社の得意領域・ノウハウ・技術を活かした具体的な戦略を策定



今後の展開

◆ グループ連携による対応力強化

- ✓ グループ全体で戦略を実行し、対応領域を拡大する
 - ・ フィールドサービス体制の拡充
 - ・ グループ戦略製品の拡販 など

II 標準品ビジネス [コンポーネンツプロフェッショナル]

フェーズ 0

◆ 風雨・耐震試験棟の本格稼動

- ✓ 過酷な設置環境に対する性能検証方法の確立
- ✓ 既存製品の性能把握



今後の展開

◆ 技術力・製品提案力の強化

- ✓ 新たに確立した性能評価基準を市場に浸透させる
- ✓ 過酷な設置環境に適合した信頼性の高い性能強化製品の開発につなげる

◆ ECADソリューションズの設立

- ✓ 株式会社ワコムより電気設計CAD事業を承継



◆ 盤関連市場の事業競争力強化

- ✓ 自動設計技術の更なる進化により、顧客利便性の向上につなげる

III 海外事業

フェーズ 0

◆ BANGKOK SHEET METAL社と資本業務提携

- ✓ 東南アジア市場における、配電盤事業の体制を構築



今後の展開

◆ 東南アジア地域での配電盤ビジネス拡大

- ✓ 日東工業、Gathergates社の配電盤・キャビネットの製品開発力と、BANGKOK SHEET METAL社の優れた製造技術を融合させる

IV 新規事業

フェーズ 0

◆ IoTを活用した製品実証実験

- ✓ 高機能感震ブレーカーによる実証実験を開始
 - ・ 首都圏レジリエンスプロジェクト「データ活用協議会」
 - ・ 静岡県掛川市「地域防災システム実証プロジェクト」
- ✓ 普通充電スタンドによる充電電力コントロール実証実験を開始
 - ・ イケア・ジャパン株式会社、株式会社豊田自動織機との共同実証実験



今後の展開

◆ 「コト価値」の創造による事業領域の拡大

- ✓ 事業化に向け、実証販売へと進展させる
- ✓ IoT技術を組込んだ製品の開発を推進する
- ✓ 製品で得られるデータを活用した新たなサービスを創出し、事業化を目指す

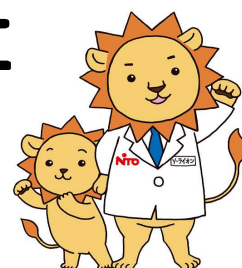
ご清聴ありがとうございました

CONNECT!

～電気と情報をつなぐ～

NITO 日東工業株式会社

証券コード: 6651



目次

- 1 2018年3月期通期決算概要
- 2 通期連結業績予想
- 3 トピックス: 価格改定について
- 4 中期経営計画について
- 5 参考資料

【事業セグメント：配電盤関連製造事業】

2018年3月期
通期

■分・配電盤、制御盤等の設計、製造、販売事業

日東工業株式会社	分・配電盤、キャビネット等の製造、販売
主要グループ会社	主 要 製 品 ・ 事 業 内 容
株式会社新愛知電機製作所	電気用諸機械器具の設計、製造、販売、修理等
株式会社大洋電機製作所	産業機械用制御システム、ソフトウェア等の製造・販売
日東工業(中国)有限公司	キャビネット・パーツ類等の製造、販売
Gathergates Group Pte Ltd	分・配電盤、制御盤、メーターボックス製造、販売
株式会社ECADソリューションズ	電気設計、ハーネス設計専用CADシステムの開発・販売
NITTO KOGYO BM(THAILAND)CO.,LTD	当社製品の輸入品販売および現地生産品販売、日本・海外企業製品の仕入販売

配電盤



高圧受電設備



配・分電盤



ブレーカ



パーツ・その他



パーツ



充電スタンド

キャビネット



キャビネット



システムラック

事業セグメント：情報通信関連流通事業

2018年3月期
通期

■情報通信機器および部材の仕入、販売

主要グループ会社	主 要 製 品 ・ 事 業 内 容
サンテレホン株式会社	情報通信機器の仕入、販売
SUNTEL(THAILAND) Co., Ltd.	情報通信機器、工事部材の仕入、販売



ネットワークカメラ

それぞれのシステムに合わせた最適な監視システム機器の仕入、販売



高速ネットワーク機器

無線・有線を効率的に使い分けた通信インフラの構築機器の仕入、販売



情報セキュリティ関連製品

様々な情報リスクに対して対策を講じる、トータルセキュリティ機器の仕入、販売

■電気設備、ネットワークシステムの設置、保守等の工事業

主要グループ会社	主 要 製 品 ・ 事 業 内 容
南海電設株式会社	情報通信ネットワーク事業、電気設備事業等

情報通信ネットワーク事業



電話設備、放送設備、
セキュリティ設備、LAN
配線などの通信設備
工事

電気設備事業



受電設備、計装設備、
照明設備、電源コンセ
ント、空調設備等の電
気設備工事

その他



- EV・PHEV用充電スタンドの保
守・メンテナンス
- 緊急地震速報設備の設置、配信
サービス、メンテナンス

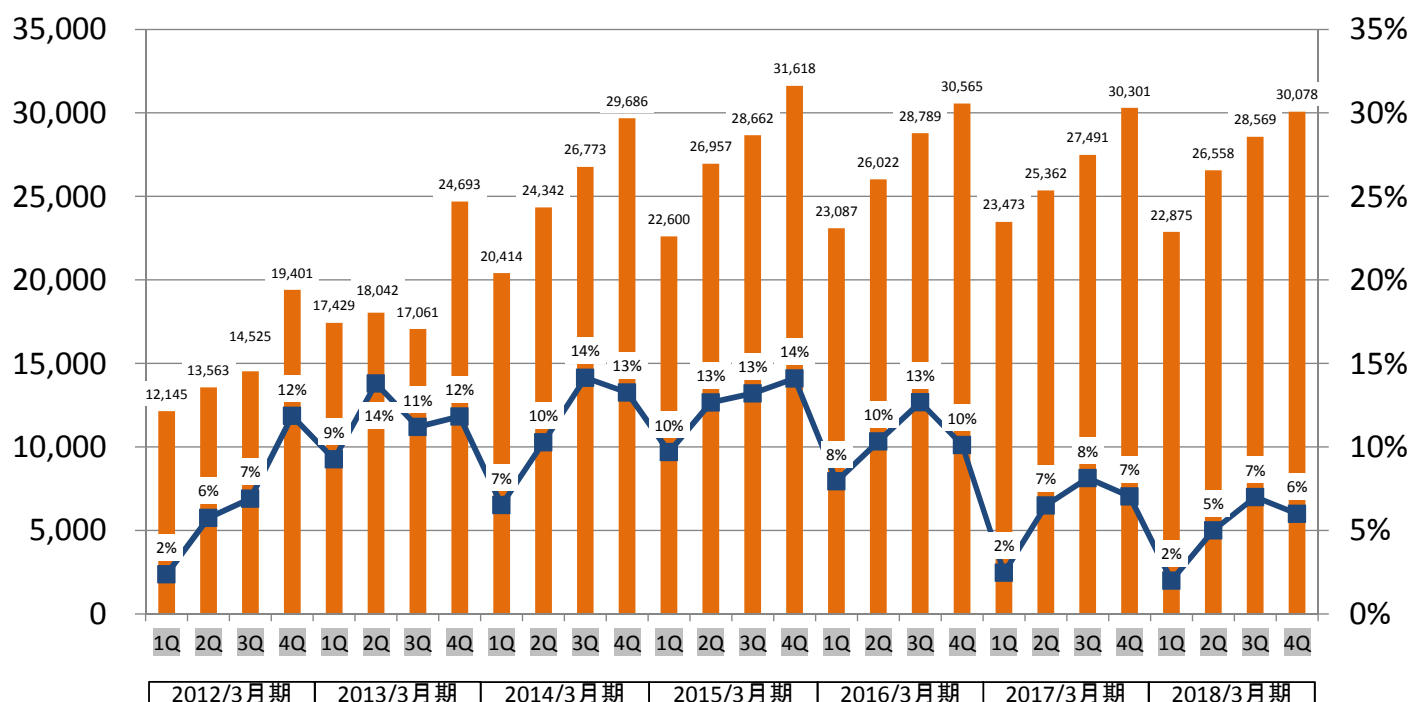
など

連結売上高の推移(四半期)

(単位：百万円)

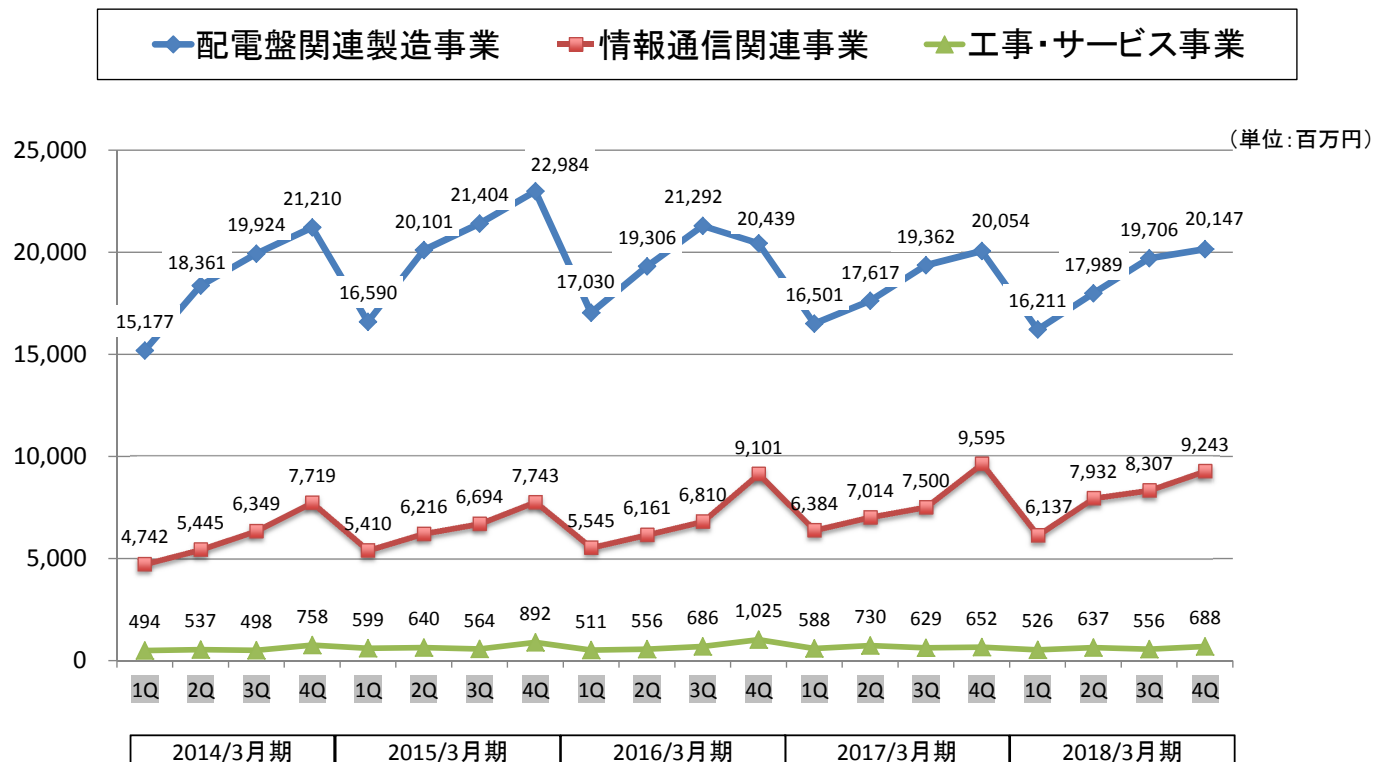
■全体の売上高

■営業利益率



セグメント別 売上高の推移(四半期)

2018年3月期
通期

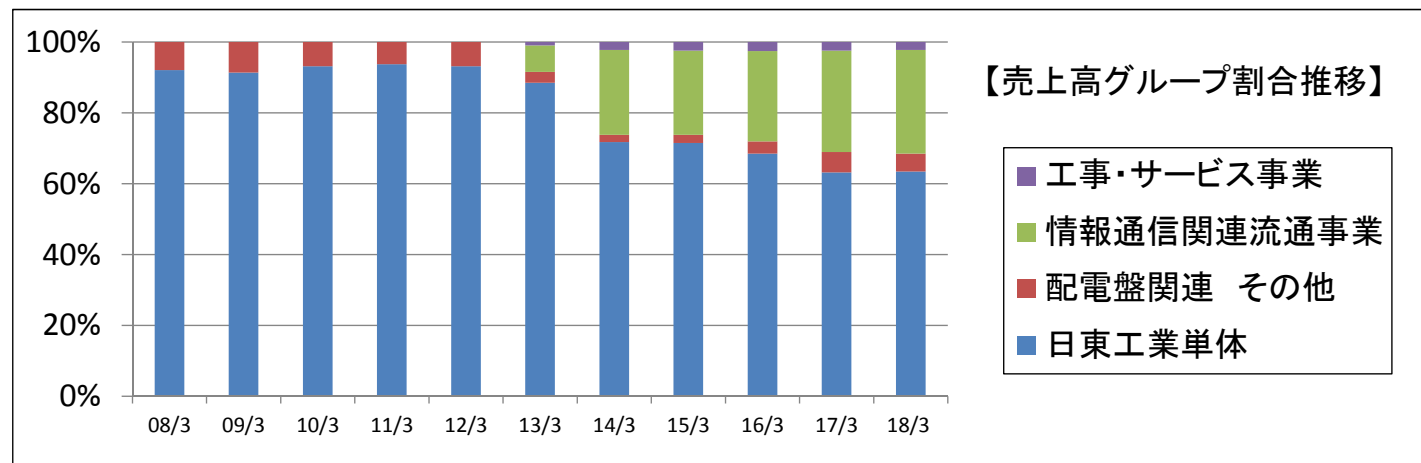


グループ連結状況(2016/3月期～)

2018年3月期
通期

【子会社 連結時期】	2016/3月期				2017/3月期				2018/3月期			
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期
株式会社新愛知電機製作所												
株式会社大洋電機製作所												
NITTO KOGYO BM(THAILAND)CO.,LTD												
Gathergates Group Pte Ltd			○	○								
SUNTEL(THAILAND)Co.,Ltd												
株式会社ECADソリューションズ												

○: B/Sのみ連結 ※: 株式100%取得



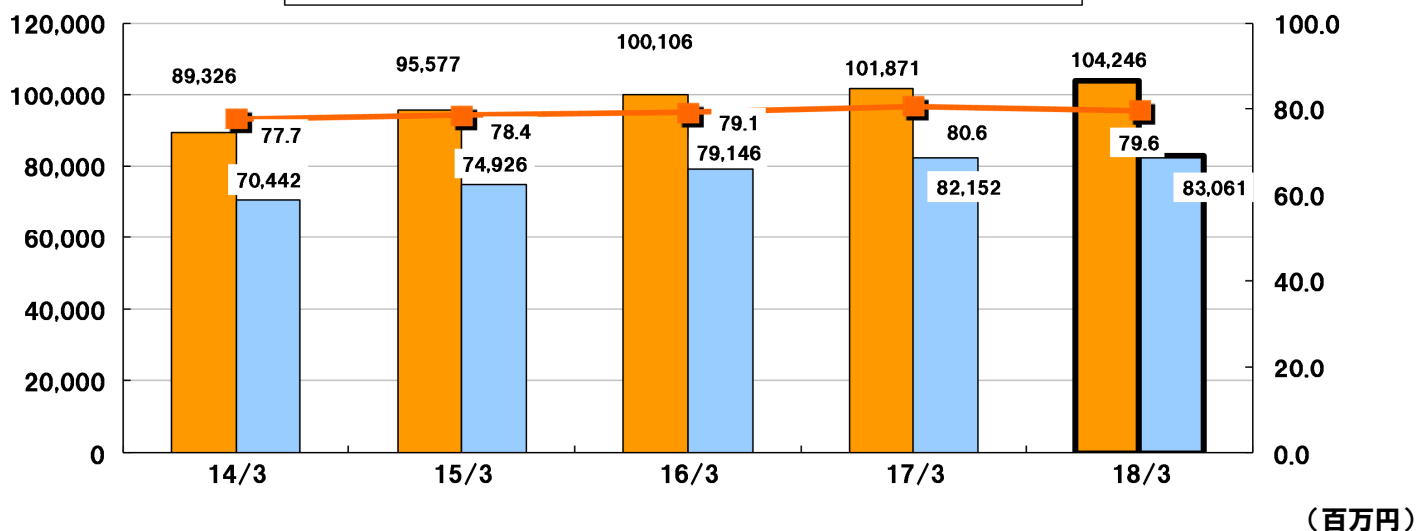
総資産・純資産・自己資本比率

2018年3月期
通期

(単位:百万円)

総資産 純資産 自己資本比率

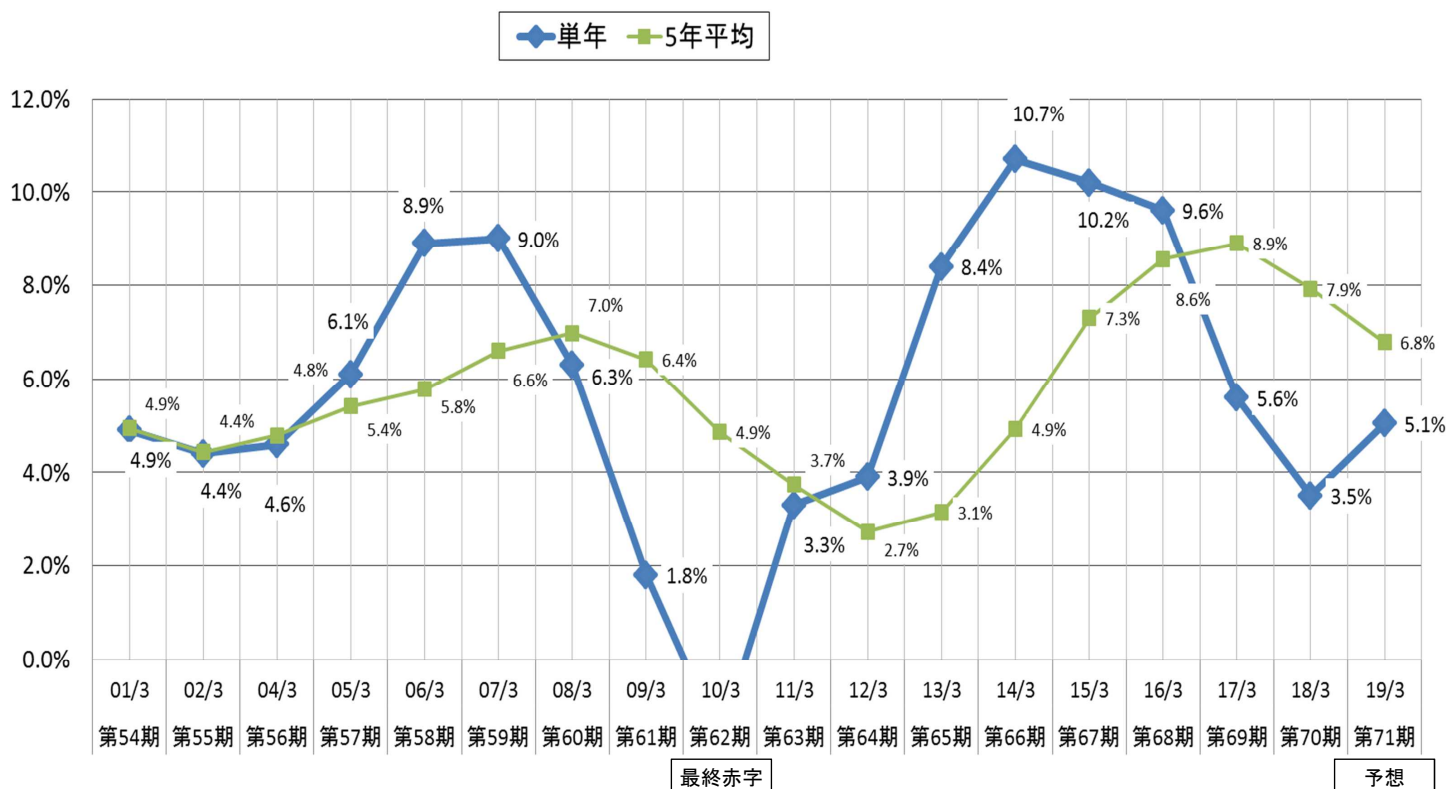
(単位:%)



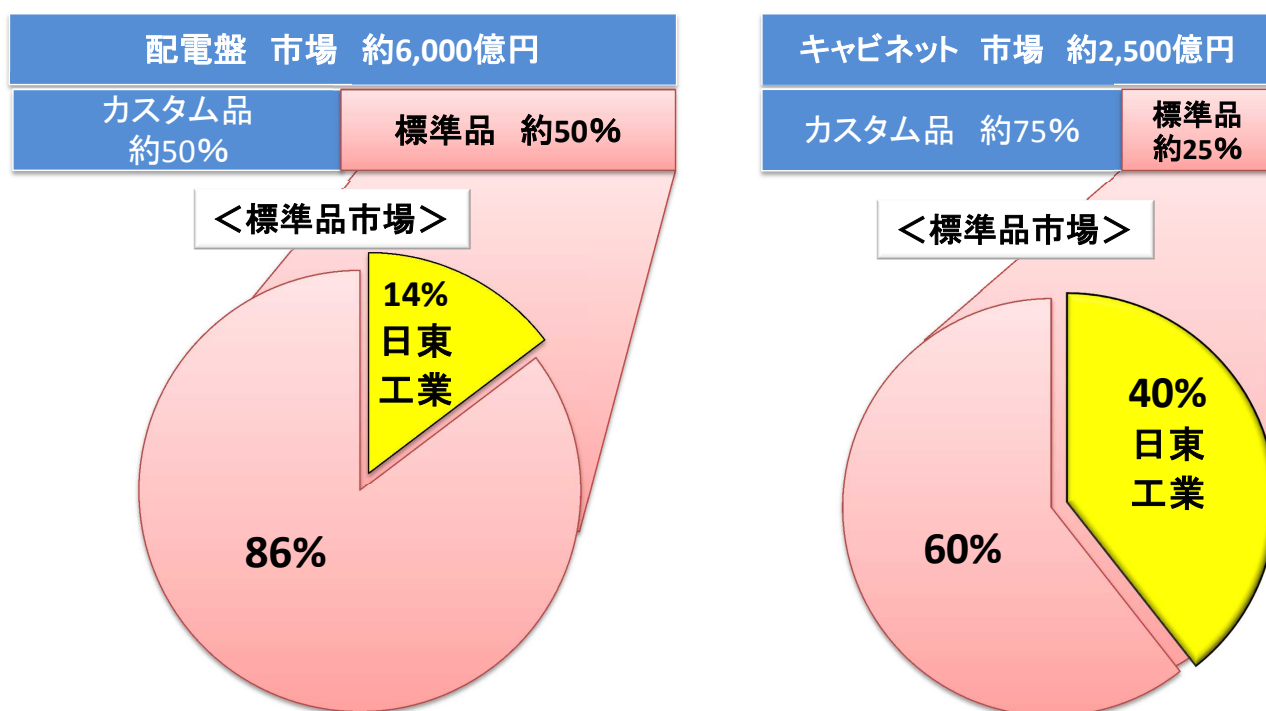
	14/3	15/3	16/3	17/3	18/3
総資産	89,326	95,577	100,106	101,871	104,246
純資産	70,442	74,926	79,146	82,152	83,061
自己資本比率	77.7%	78.4%	79.1%	80.6%	79.6%

ROE(自己資本当期純利益率)の推移(連結)

2018年3月期
通期



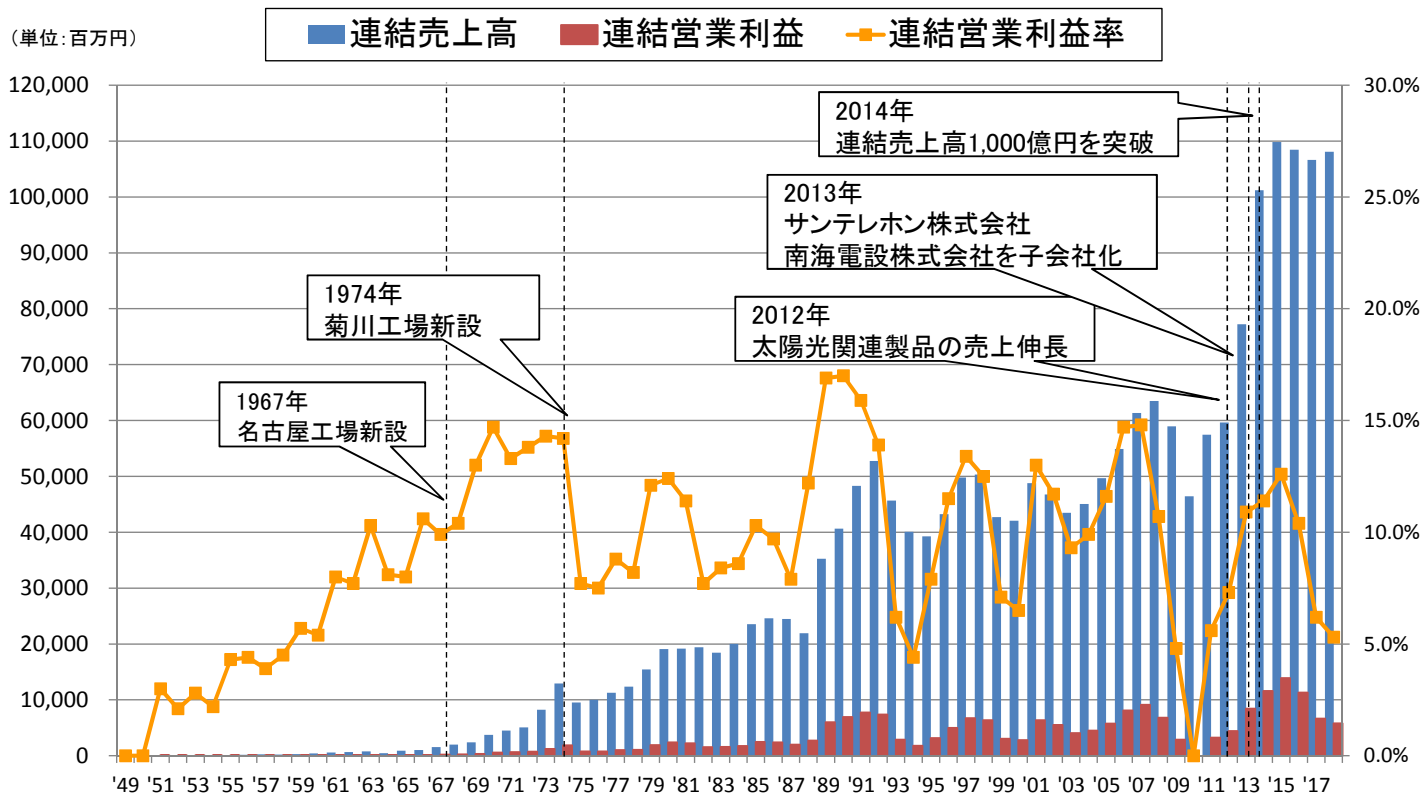
標準品市場でキャビネットはシェアNo.1！配電盤はシェアNo.2！（※）

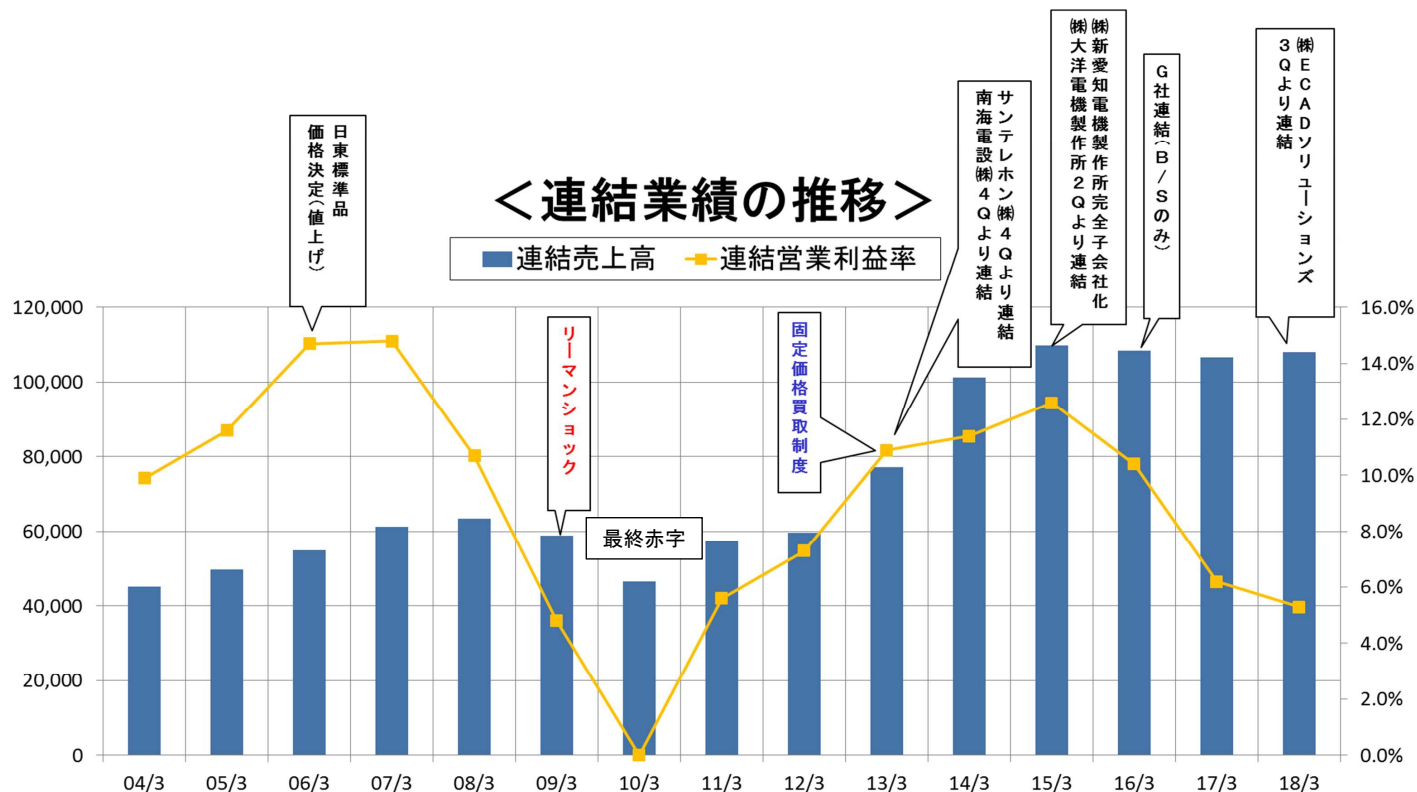


※配電盤市場に光接続箱、キャビネット市場にシステムラックを含む

業績推移 設立～現在

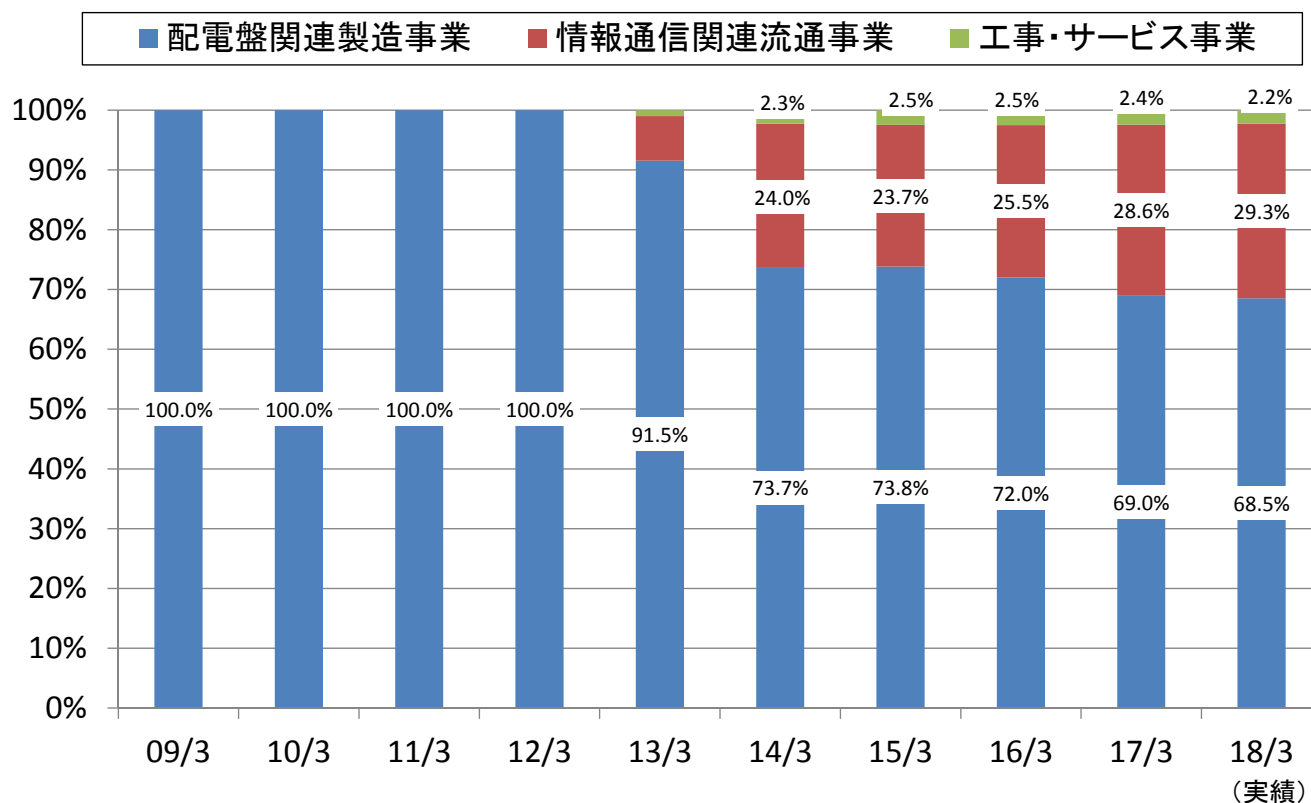
2018年3月期
通期





事業セグメント別 売上高構成比

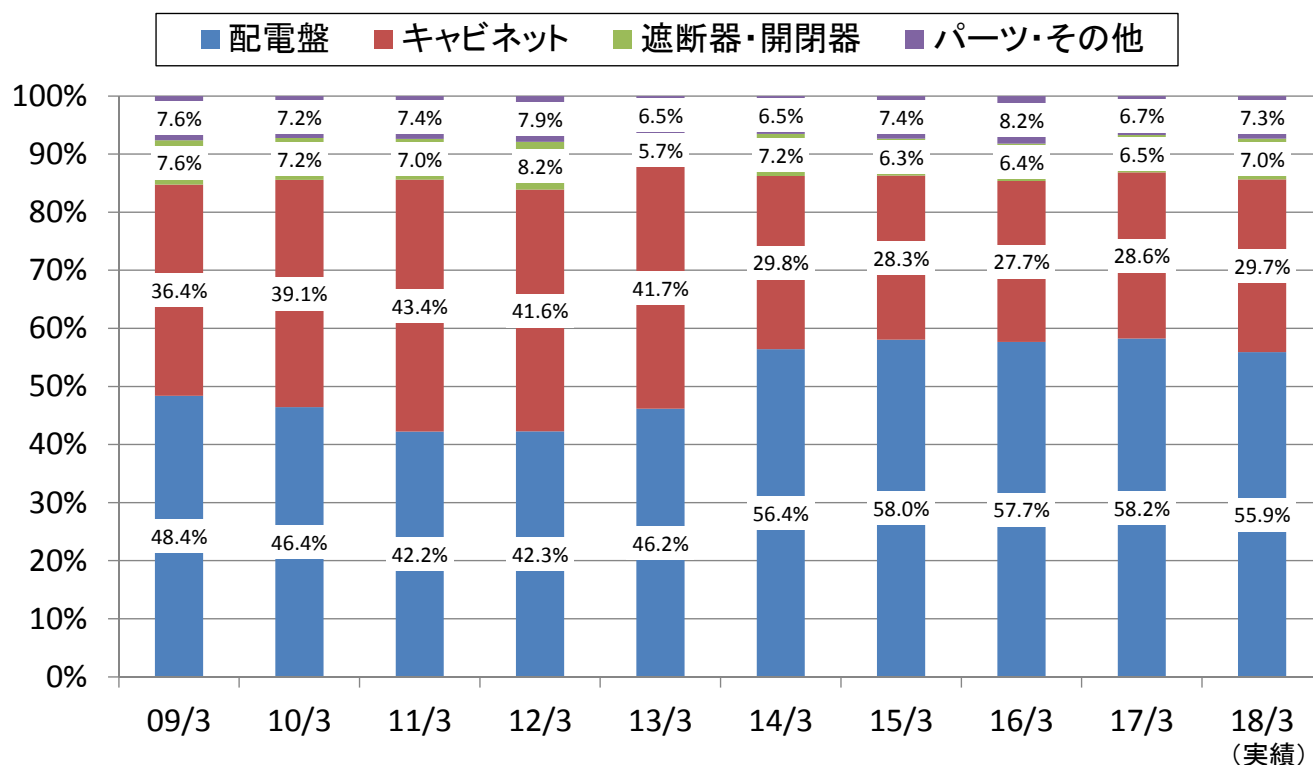
2018年3月期
通期



四捨五入の関係で数値の合計が一致しないことがあります。

配電盤関連製造事業(部門別売上高構成比率)

2018年3月期
通期



四捨五入の関係で数値の合計が一致しないことがあります。

電気自動車 充電スタンド

2018年3月期
通期

